稲吟OB会会報

No. 48

吟 在早稲田

早稲田大学稲吟OB会

稲吟ＯＢ会の№48 号をお届けします。
新型コロナの５類への移行によりＯＢ会・現役の諸行事が徐々に再開されております。
本号では、会員からの便り、ＯＢ会特別交流会、稲吟会現役の活動等をお届けいたします。

■目次■

News Flash
稲吟ＯＢ会会長挨拶　ＯＢ会長　松村哲郎 1

2022 年度実施報告
2022 年度稲吟ＯＢ会定例総会報告 3

会員からの便り
「稲吟ＯＢ会温泉旅行の会」終幕の会開催されました 6
「折角の縁です。詩吟を続けましょう！」　昭 44 年卒会　鶴岡和彦 7

2023 年度実施報告
稲吟ＯＢ会特別交流会が開催されました 9

現役報告
「現役活動報告と今後について」　第 68 代執行部幹事長　杉山広樹 13
第 68 代執行部のご紹介 14
現役会員紹介 14
令和 4 年度　稲吟会学内吟詠発表大会開催される 15

事務局よりの連絡
会員動向・新会員 16
訃報 16
年会費の納入にご協力ください 17
ＯＢ会関係行事への参加申し込み方法について 17

■表紙解説
商学部前からの大隈銅像と大隈講堂　（2023 年 8 月撮影）
■裏表紙解説
奥に演劇博物館を望む　（2023 年 8 月撮影）

「2023 年　稲吟 OB 会・特別交流会」

稲吟 OB 会会長
松村哲郎

皆さんとやっと会えました！

”都の西北早稲田の杜”に現役８人を含め、55 人が集まりました。
9/23 日（土曜日）、北は北海道　釧路市・札幌市から、西は大阪府　寝屋川市・八尾市・堺市から参集しました。

昭和 33 年卒業の鳥山さん、昭和 38 年卒業の藤澤さんをはじめ、令和 4 年卒業の河本君まで、昭和・平成・令和の卒業生が一堂に会しました。
現役と令和卒業の OB・OG は、コロナ禍の影響で大人数での会は初めての経験です。
少し緊張していたようですが、時間が経つにつれて雰囲気にも慣れ、表情が和らいできました。
昭和・平成の OB・OG は、年代を越え打ち解け、久し振りの再会に会場は、懐かしんでいる顔、楽しそうな顔が広がっていきました。

〞この雰囲気を楽しんでいる”そう感じました。

現役は、現在 14 名と聞いています。
今後、活動が活発になり、人数が増える事を期待しています。
部室は、戸山キャンパスの学生会館　E一1014（10 階）にあります。
機会を見つけて訪ねていただければ幸いです。

「人の繋がりを大事にする稲吟会」
「いつでも気兼ねなく来られる OB 会」
であり続けたいと思っています。

2 年後の 2025(令和 7)年は、「創立 70 周年記念大会」です。

それまで、お元気でお過ごし下さい。

(9/30 記)

登録住所に変更がある場合は事務局まで連絡願います！！

2022年11月作成の会員名簿以降にOB会事務局へご連絡を頂いた会員の方の住所変更等につきましては、本会報末尾の「会員動向」及び「新会員」に記載のとおりです。

2022年11月発行の会員名簿と、今回お届けした会報の「会員動向」「新会員」をご確認頂き、変更・訂正があればOB会事務局までご連絡願います。

OB会事務局へのご連絡方法：

1. 稲吟会ホームページ（http://www.togin.org/）の「稲吟OB会」を選び、「早稲田大学稲吟OB会」画面の「お問い合わせ」から「住所等の変更」を選択して頂くと事務局宛のメール画面になります。
   メール本文欄に変更・訂正の内容を記載の上お送りください。
2. 郵送の場合には会報裏表紙記載の会報発行責任者宛にお願い致します。

2022 年度稲吟ＯＢ会定例総会報告

稲吟ＯＢ会ホームページ及び Facebook（【公式】稲吟 OB 会コミュニティ）にてご案内させて頂いたとおり、新型コロナウィルス感染者数も少なくなり行動規制も緩和されましたが、本年２月時点では定例総会の開催は中止とさせて頂きました。
尚、併せてご案内させて頂いた総会時にご承認頂く必要がある項目（活動報告・決算案・予算案）については、ホームページ及び Facebook にて周知し、4 月 15 日（水）迄にご質問等がございませんでしたのでご承認頂いたものとさせて頂きました。

■ 2022 年度活動報告

9 月 6 日	稲吟ＯＢ会会報 47 号発行・年会費請求	事務局
11 月 8 日	稲吟ＯＢ会 2022 年 11 月現在会員名簿発行	事務局
11 月 19 日	稲吟会令和 4 年度学内吟詠発表会	早稲田大学学生会館

■ 2022 年度決算報告

2022年度(2022/1/1-2022/12/31)通常会計　決算

収入の部			支出の部			
費目	予算	決算	費目	前年度決算	予算	決算
前年度繰越金	508,619	508,619	稲吟会支援	140,000	140,000	140,000
年会費*1	400,000	486,000	通信費補助（対稲吟会）	60,000	60,000	60,000
記念大会特別会計より繰入	0	0	通信費※2	46,050	150,000	80,598
寄付金	0	0	会報製作費	27,690	30,000	18,670
雑収入	0	0	広報関係費	0	0	0
			名簿制作費	0	30,000	32,550
			行事関係費	0	0	0
			慶弔費	6,435	20,000	0
			役員会議費※3	0	0	48,630
			事務局経費	6,390	5,000	4,762
			関西支部支援	0	10,000	0
			振込手数料	825	2,000	1,155
			予備費	0	461,619	0
			次年度繰越金	508,619	0	608,254
合計	908,619	994,619	合計	796,009	908,619	994,619

※1　年会費　69人（予算80人　前年度　77人）
※2　通信費差異理由：行事案内を兼ねた住所確認用の往復はがき購入を予算織込みしたが実施無し
※3　役員会議費差異理由：役員打合せ及び現役との交流費用支出

2022年度(2022/1/1～12/31)　特別会計　決算

収入の部			支出の部		
費目	予算	決算	費目	予算	決算
前年度繰越金	1,672,830	1,672,830	通常会計へ繰入	0	0
リーガロイヤルH予約金*	111,000	111,000	リーガロイヤルH予約金*	111,000	111,000
利息	0	14	次年度繰越金	1,672,830	1,672,844
合計	1,783,830	1,783,844	合計	1,783,830	1,783,844

＊65周年記念大会の祝賀会場リーガロイヤルホテルへの前払金(予約金)は未使用で繰越しを継続中

上記の通常会計・特別会計に関して、3月17日付にて会計監査の山田仁史氏より会の収支状況を正しく示しており、内容が真実であることの報告を頂きました。

■ 2023年度活動計画

8月	稲吟ＯＢ会会報48発行・年会費請求	事務局
9月	稲吟ＯＢ会・稲吟会現役との交流会	場所未定
11月	稲吟会令和5年度学内吟詠発表会	早稲田大学学生会館

■ 2023年度予算

2023年度(2023/1/1-12/31)通常会計　予算

収入の部			支出の部		
費目	前年度決算	予算	費目	前年度決算	予算
前年度繰越金	508,619	608,254	稲吟会支援	140,000	140,000
年会費※1	486,000	400,000	通信費補助(対稲吟会)	60,000	60,000
記念大会特別会計より繰入※2	0	0			
寄付金	0	0	通信費	80,598	100,000
雑収入	0	0	会報製作費	18,670	20,000
			広報関係費	0	0
			名簿制作費	32,550	0
			行事関係費	0	100,000
			慶弔費	0	20,000
			役員打合せ及び現役との交流費※2	48,630	100,000
			事務局経費	4,762	5,000
			関西支部支援	0	10,000
			振込手数料	1,155	2,000
			予備費	0	451,254
			次年度繰越金	608,254	0
合計	994,619	1,008,254	合計	994,619	1,008,254

※1　会費納入80名で織込み

※2　支出の使途明確のため費目を「役員会議費」から「役員打合せ及び現役との交流費」に変更しました

2023年度(2023/1/1-12/31)特別会計　予算

収入の部			支出の部		
費目	前年度決算	予算	費目	前年度決算	予算
前年度繰越金	1,672,830	1,672,844	通常会計へ繰入		
リーガロイヤルH予約金	111,000	111,000	リーガロイヤルH予約金	111,000	111,000
利息	14		振込手数料		
			次年度繰越金	1,672,844	1,672,844
合計	1,783,844	1,783,844	合計	1,783,844	1,783,844

※65週年記念大会の祝賀会場リーガロイヤルホテルへの前払金(予約金)は未使用で繰越しを継続中

■ 役員人事

(退任)　　予定なし

(新任)　　予定なし

2022 年度 役員人事案

会長	松村哲郎（S48）		
副会長	深野暢行（S53）	二ノ宮清介（S56） 全行事担当	澤井一樹（H2） 関西支部長
会計監査	山田仁史(H1)		
事務局	深野暢行 事務局長	片山　俊（H18） 会計担当	
現役担当	二ノ宮清介（S56）	本 尋(旧姓西) 奈津希 （H29）	
顧問	野中民蔵（S40）	松岡宣夫（S41）	藤田和夫（S45）
	小出秀文（S48）		

「稲吟ＯＢ会　温泉旅行の会」終幕の会開催されました

稲吟ＯＢ会温泉旅行の会の終幕の会のご報告をさせていただくに先立ち、当会の幹事として長く勤めていただきました昭和 41 年ご卒会の松井明治さんが、本年 6 月 9 日（金）早朝に 80 歳で逝去されましたことご報告させていただきます。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

さて、温泉旅行の会は 2020 年（令和 2 年）1 月の下呂温泉を最後に、コロナ禍のため休止のやむなきにいたっていました。このブランクの間、会の役割や皆さんの高齢化等々を検討した結果、残念ながら、会の幕を下ろすこととなりました。

稲吟ＯＢ会温泉旅行の会は、1994 年（平成 6 年）に昭和 41 年卒会の野朗会を中心として発足しました。それ以降、諸兄の参加も広がり、27 年の長きにわたり延べ 450 名のご支援をいただき、毎年いろいろな舞台で温泉旅を楽しむことができました。

9 月 28 日（木）にリーガロイヤルホテル東京で開催されました会には、昭和 35 年ご卒会の前田先輩を始め 23 名の方が集まり、温泉旅行の会で訪れた先の話で盛り上がると共に、会が終幕となることを惜しむ声が多くありました。

会終了後には大隈庭園に出て記念の集合写真を撮り、全員で富士山を吟じて解散となりました。

（ＯＢ会事務局）

「折角の縁です。詩吟を続けましょう！」

44 年卒会の鶴岡和彦です。お陰様で喜寿を迎えました。

卒業以来詩吟と離れたことは何回かありましたが、その後行く先々で三名の先生と巡り合うことが出来まして、現在は平塚で岳風流の教室で声をだしております。大会に参りますと私などは若い方で、80 代とお見受けする方達が元気に活躍されていらっしゃいます。

私で四代目となりました家業の横浜の魚河岸の店を畳んでから、これも縁あってなった本牧神社の神主の仕事も、いまは年数回の大事なお祭りにご奉仕するという程度にさせて戴いております。この仕事も詩吟で声を出す鍛錬が出来ていたので、とても助かりました。

ほかに伝統芸能の「江戸祭り囃子」を毎週土曜日の午後いまもお稽古しております。地元の祭りだけでなく、正月の奉納演奏や、東京鳥越祭り・池袋ふくろ祭・豆まき他各種施設での演奏の機会をいただいております。
以前は「かっぽれ」もやっていたのですが、師匠共々自らの体力が続けるにはしんどくなってきました。

これでも「豊年家千寿源（ほうねんやちずげん）」という名取りです。

お囃子とかっぽれは家内と二人で楽しんでおります。尤も家内の方が技量が上ですが。
また、今年の 3 月の新聞に郷土芸能について投稿し掲載されました。

以上の近況ですが、体力の続く限り楽しみながらやっていく所存です。

日本経済新聞 2023年(令和5年)3月4日(土)

声 Voice 郷土芸能 みんなで語ろう

存続願い 祭り囃子の稽古に汗

神主 鶴岡 和彦（神奈川県 76）

祭り囃子を指導する「親方」をしています。祖父も親方でしたが、戦時中に地元の演者がいなくなり、私が子どものころは、祭りになると近隣の地区からお囃子の人に来てもらったそうです。

地元で復活させようと、25年ほど前、東京からお囃子の師匠を招いて稽古を始めました。小学生から大人まで10人近く。私も小学生に交じって毎週、演奏のほか、おかめやひょっとこの踊り、獅子舞の習得に汗を流しています。

みな喜んで稽古するのですが、子どもたちは中学や高校に進むと部活動や受験勉強に忙しく、稽古を続けられなくなるケースが多くなっています。ここ数年はコロナ禍で活動の場が失われ、私たちも存続の危機にさらされています。参加者を募っても、子どもも会じたいがあまり機能していない地区が多いようです。

そんな中、祭りのにぎわいを願む声は戻っています。先日は3年ぶりに横浜市の三渓園でお囃子を披露でき、喜びを新たにしました。祭り囃子は情緒の豊かさが魅力です。存続を願いながら、これからも演じていきます。

(9/30 記)

「会員からの便り」では、ＯＢ・ＯＧの皆様の卒会後の近況報告等を今後も掲載して行きたいと事務局では思っています。
Ａ４用紙 1～２枚程度にまとめて頂き、出来れば関連する写真も添えてお送り下さい。
お待ちしております。

【投稿方法】
稲吟ＯＢ会ホームページのトップページから「お問い合わせ」項目の「ＯＢ会行事に参加を希望される方について」を選択し名簿担当までメールにてお送り下さい。
郵送の場合には会報裏表紙記載の会報発行責任者宛にお願い致します。

稲吟ＯＢ会特別交流会が開催されました

「待ちわびた日がやって来ました

現役を交え

“都の西北・早稲田の杜”でお会いしましょう！」

上記のスローガンのもと、本年 2023 年（令和 5 年）9 月 23 日（土曜日）リーガロイヤルホテル東京にて、新型コロナ感染流行で途絶えていたＯＢと現役の交流会を「稲吟ＯＢ会特別交流会」として開催しました。
当日のＯＢ参加者は、昭和33年ご卒会の鳥山正光さんから、令和4年ご卒会の河本和音さんまで４７名、現役は、杉山広樹幹事長始め８名の総勢５５名にて久し振りの顔を合わせての再会を祝いました。

松村哲郎ＯＢ会長より、2 年後には稲吟会は 70 周年を迎えることになり、現役とＯＢで盛大に行うことを宣言されました。
また、現役からは、令和 5 年度の学内吟詠発表会を 11 月 25 日(土)に開催する旨報告が有りました。詳細は現役より追って連絡が届く予定となっています。

（ＯＢ会事務局）

「現役活動報告と今後について」

日頃より、現役会員に多大なるご支援を賜り、誠にありがとうございます。
早稲田大学稲吟会第 68 代執行部幹事長の杉山広樹と申します。

本年度の稲吟会は新入会員として一年生 4 名、二年生 2 名、三年生 2 名を新たに迎えることとなりました。今年はコロナ禍が落ち着いたこともあり、ビラ配布を通しての新勧活動を行いました。ビラ配布は現役会員にとっても貴重な経験であり、楽しみながら新歓活動ができました。来年以降も、ビラのデザインを新しくするなどしながら継続したいと思っています。

新歓後は例年通り、前期納会に向けて各自の吟題の練習を行いました。特に今年は詩吟に興味を持って入会してくれた新入会員が多いこともあり、詩吟を中心に練習が続きました。また 5 月から 6 月にかけて早慶戦や 100 キロハイクといった行事にも参加しました。これらの行事はコロナ禍によってここ数年開催が見送られていましたが、今年から再開しました。これにより、薄れかけていた界隈間での交流も徐々に復活し稲吟会も界隈の一員であることを再認識できました。
今年の夏合宿ですが部員の予定が合わなかったことから中止となりました。しかし今年に入って全国学生詩吟連盟が数年ぶりに復活し、全キャンが 8 月末に開催されました。早稲田大学、明治大学、岡山大学、龍谷大学、関西大学の計 5 校が集まり、3 日間にわたって交流しました。

今後につきまして、今年度の学内発表会は 11 月 25 日（土）に学生会館 B201 で行います。コロナ禍が収束してきたこともあり、対面形式での実施を想定しております。感染状況次第では今後の動向が変わる可能性もありますが、可能な限り OB の皆様をご招待できればと思っております。発表会に関しては改めてご連絡させていただきます。

今年度は昨年までと比較してイベントや大学間の交流が増えました。コロナ禍からの復活ということで関係者のモチベーションも高く、それらに幹事長として関わることができ非常に光栄に感じております。これからも他団体との交流を密にしながら稲吟会の発展のため尽力していく所存です。

また今年度、前任者の事情により第 68 代幹事長を変更させていただきました。ご報告が遅れましたこと、この場にてお詫び申し上げます。
この度は現役会員として私にこのような文章を書く機会を与えてくださった、早稲田大学稲吟 OB 会事務局の深野先輩に感謝を申し上げるとともに、OB 会の更なる発展を願い、挨拶の結びとさせていただきます。

以上

68代執行部のご紹介

第 68 代執行部をご紹介します。杉山幹事長を中心に、以下のような総勢 4 名の陣容です。

■第 68 代早稲田大学稲吟会執行部

幹　事 長　杉山　広樹　（すぎやま　ひろき　文学部 3 年）
副 幹 事 長　山下　優香　（やました　ゆうか　文学部 2 年）
指 導 幹 事　浅井　ももこ（あさい　ももこ　聖心女子大学現代教養学部 3 年）
会 計 幹 事　山口　凛紗　（やまぐち　りさ　文化構想学部 3 年）

現役会員紹介

＜写真の左上から＞

藤原理沙子	文学部 2 年
辰野美澄	中央大学国際情報学部 1 年
河田奈々	政治経済学部 2 年
山口凛紗　（会計）	文化構想学部 3 年
坂本映美	文化構想学部 4 年

＜左下から＞

山下優香　（副幹事長）	文学部 2 年
杉山広樹　（幹事長）	文学部 3 年
浅井ももこ（指導幹事）	聖心女子大学現代教養学部 3 年

※都合により当日不参加の方 6 名

4 年　原光希　3 年　中島尊望　2 年　信末賢人・村中愛理　1 年　平田彩依日・齋藤優佳

現役（4 年を含む現役 14 名）の出身地

東京 3 名、神奈川 4 名、千葉 1 名、茨城 1 名、埼玉 1 名、新潟 1 名、大阪 1 名、
兵庫 1 名、広島 1 名

令和４年度　稲吟会学内吟詠発表大会開催される

令和４年 11 月 19 日（土曜日）　早稲田大学学生会館地下２階　多目的ホール 201 にて、令和４年度の稲吟会学内吟詠発表大会が観客を入れて開催されました。
コロナ感染対策をした中で、独吟、合吟に加え詩舞や剣舞、構成吟など多彩な構成で日ごろの成果を発揮していました。

会員動向（住所変更）OB会員名簿（2022 年度版）について、以下を修正ください。

新会員

訃　報

心よりお悔やみを申し上げます。

年会費の納入にご協力ください

会員の皆様には年会費（５，０００円）の納入をお願いしております。卒業後３年間は４，０００円です。まだお支払いでない方は下記の口座にお納めください。恐れ入りますが振込手数料はご負担ください。会費納入実績につきましては、稲吟 OB 会事務局会計担当（kaikei@togin.org）まで。

口座名　　早稲田大学稲吟ＯＢ会　振替　００１５０－７－６１７４０
《他の金融機関からの振込の場合…》
ゆうちょ銀行（金融機関コード ９９００）、店番 ０１９、
店名 〇一九（ゼロイチキユウ）店、預金種別 当座、
口座番号 0061740、受取人名 ワセダダイガクトウギン OB カイ
年会費　5,000円

ＯＢ会関係行事への参加申し込み方法について

ＯＢ会関係行事の開催につきましては、ハガキ・稲吟ＯＢ会ホームページ・【公式】稲吟ＯＢ会コミュニティ（Facebook）でご案内していますが、現在ハガキ送付を受けていない方で行事参加を希望する場合は下記の方法で事務局までお願い致します。

＃以下の Facebook 又はホームページをご利用ください。

- Facebook：【公式】稲吟 OB 会コミュニティ
- ホームページ：稲吟ＯＢ会ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://www.togin.org/

＃Facebook・ホームページから行事参加を申し込みする場合の方法

- Facebook「【公式】稲吟 OB 会ｺﾐｭﾆﾃｨ」から参加を希望する場合
  Facebook コメント欄で「参加希望」をコメントする。

- 稲吟ＯＢ会ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ から参加を希望する場合
  トップページから「お問い合わせ」項目の「OB 会行事に参加を希望される方について」を選択し、名簿担当宛に「参加希望」をメールする。

発　行：2023（令和 5）年 10 月 12 日
発行者：早稲田大学稲吟ＯＢ会事務局

編集発行責任者：深野暢行（稲吟ＯＢ会事務局）
早稲田大学稲吟ＯＢ会会報　通巻第 48 号

稲吟会ホームページ http://www.togin.org/
稲吟 OB 会 http://www.togin.org/**alumni/**　　稲吟会 http://www.togin.org/**toginkai/**